

## NY マーケットレポート (2015年7月21日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、米長期債利回りが低下したことなどを背景に、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、来週の米 FOMC で利上げ開始に向けた議論が行われることから、ドルの下値は限定的となった。一方、ギリシャ政府は、支援をめぐる改革法案を議会に提出したが、22 日までに法案が可決するとの見方から、ユーロが主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、ユーロ不安を背景に、積み上がったユーロ売りを解消する動きも見られた。

### 2015/7/21 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	124.40	124.46	124.27
EUR/JPY	134.68	134.78	134.49
GBP/JPY	193.67	193.88	193.37
AUD/JPY	91.62	91.82	91.35
EUR/USD	1.0827	1.0835	1.0818

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.40	124.26
EUR/JPY	135.28	134.68
GBP/JPY	193.81	193.07
AUD/JPY	91.79	91.59
EUR/USD	1.0879	1.0827

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20841.97	+191.05
ハンセン指数	25536.43	+131.62
上海総合	4017.67	+25.57
韓国総合指数	2083.62	+10.31
豪ASX200	5706.71	+19.82
インドSENSEX指数	28182.14	-237.98
シンガポールST指数	3371.41	-2.07

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6769.07	-19.62
仏CAC40	5106.57	-35.92
独DAX	11604.80	-130.92
ST欧州600	402.66	-4.14
西IBX35指数	11458.60	-97.50
伊FTSE MIB指数	23712.90	-318.29
南ア 全株指数	52901.42	-86.90

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	123.93	124.40	123.77
EUR/JPY	135.61	135.76	135.00
GBP/JPY	192.80	193.56	192.53
AUD/JPY	92.01	92.26	91.58
NZD/JPY	82.18	82.52	81.97
EUR/USD	1.0944	1.0969	1.0856
AUD/USD	0.7425	0.7450	0.7362

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17919.29	-181.12
S&P500	2119.21	-9.07
NASDAQ	5208.12	-10.74
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14376.24	-49.31
🇧🇷 ボルサ指数	45401.23	-166.76
🇲🇪 ボベスパ指数	51474.28	-125.80

#### 7/22 経済指標スケジュール

09:30	【豪】6月ウエストバック先行指数
10:00	【豪】6月DEWRインターネット求人指数
13:30	【日】2Q消費者物価指数
13:30	【日】6月全産業活動指数
14:00	【日】6月全国スーパー売上高
15:00	【日】6月工作機械受注
15:45	【仏】7月景況感指数
15:45	【仏】7月生産アウトロック指数
15:45	【仏】7月企業景況感指数
17:00	【南ア】6月消費者物価指数
17:30	【英】7月英中銀 議事録
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【米】5月住宅価格指数
22:00	【メキシコ】5月小売売上高
23:00	【米】6月中古住宅販売件数
06:00	【NZ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1103.50	-3.30
NY 原油	50.86	+0.42
CMEコーン	417.50	+1.50
CBOT 大豆	1004.75	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.69%	0.70%
3年債	1.06%	1.09%
5年債	1.67%	1.70%
7年債	2.07%	2.11%
10年債	2.34%	2.37%
30年債	3.07%	3.10%

#### 7/22 主要会議・講演・その他予定

--

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 124.34 ユーロ/円 135.19 ユーロ/ドル 1.0872

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6784.25	-4.44	ダウ 先物ミニ	17969	-34
仏 CAC40	5143.72	+1.23	S&P 500 ミニ	2121.00	-1.00
独 DAX	11721.80	-13.92	NASDAQ 100 ミニ	4676.50	+5.25

(出所: SBILM)

21:00

〈企業決算〉

米ベライゾン

第2四半期の1株利益は1.04ドル、(予想1.01ドル)

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17985.30	-115.11
ナスダック	5217.17	-1.69

(出所: SBILM)

〈海外の話題〉

中国税関総署によると、中国の6月のオーストラリア産石炭の輸入は前月比+36%の667万トンだった。中国国内の供給が縮小したことや、季節要因で発電所の需要が増えたことが背景。前年同月比では-14.6%。中国各港の品質検査強化などが響いた。北朝鮮産石炭の輸入は前年同月比+42.8%の200万トン。輸入量はインドネシア産石炭を抜いて2位となった。価格の安さが寄与したとみられる。インドネシア産石炭の輸入は前年同月比-49.8%の188万トンだった。6月の中国の石炭輸入(低品位の褐炭を除く)は全体では前年同月比-28.7%の1370万トン。前月比では+28%だった。

23:40

〈NY株式市場 序盤〉

序盤の株式市場は、前日引け後に発表された四半期決算がさえない内容だったことを受けて、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。また、欧州主要株価が軟調な動きとなったことも影響した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で165ドル安まで下げる動きとなった。

◀ 経済指標のポイント ▶

米 FRB は、鉱工業生産の年次改定を発表した。2014 年の年間は前年比+3.7%とこれまでの数字から 0.4 ポイント下方修正された。また、2012 年は+2.8%、13 年が+1.9%とそれぞれ 1.0 ポイント下方修正された。今年 6 月の数字は前月比+0.2%へと 0.1 ポイント下方修正。4 月はこれまでの -0.5%から -0.3%へと 0.2 ポイント上方修正された。

2014 年の設備稼働率は 78.1%で 79.1%から 1.0 ポイントの下方修正。それでも 2007 年以来の高水準を維持している。2012 年、2013 年もそれぞれ 76.7%へ下方修正された。今年 6 月の設備稼働率は 77.8%で 0.6 ポイントの下方修正。4 月は 78.0%、5 月は 77.7%にそれぞれ下方修正された。

0 : 20

◀ 要人発言 ▶

黒田日銀総裁～バンコクで講演

- ・「日本のインフレ率、向こう数カ月で相当加速すると予想」
- ・「日本のインフレ率、16 年度上期に 2%目標に達すると見込む」
- ・「現時点で一段の QE 必要ない、必要なら追加緩和躊躇せず」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6769.07	-19.62
仏 CAC40	5106.57	-35.92
独 DAX	11604.80	-130.92
ストック欧州 600 指数	402.66	-4.14
ユーロファースト 300 指数	1596.34	-17.61
スペイン IBEX35 指数	11458.60	-97.50
イタリア FTSE MIB 指数	23712.90	-318.29
南ア アフリカ全株指数	52901.42	-86.90

(出所: SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、欧州企業の業績先行きに不透明感が広がったことや、米国株が一時、大幅安となったことを材料に、主要株価は売りが優勢となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17897.34 (-203.07) 、S&P500 2120.65 (-7.63) ナスダック 5205.82 (-13.04)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株の大幅下落で投資家にリスク回避志向が広がり、安全資産とされる米国債が逃避的に買われた。ただ、米FRBが早ければ9月にも利上げに踏み切るとの警戒感から売られる場面もあり、上げ幅は限定的だった。

午前の利回りは、30年債が3.11%（前日3.11%）、10年債が2.36%（2.38%）、7年債が2.09%（2.11%）、5年債が1.68%（1.71%）、3年債が1.07%（1.09%）、2年債が0.69%（0.71%）。



(出所：ブルームバーグ)

#### 《欧州のポイント》

①ギリシャ政府は、支援をめぐる国際債権団との協議を開始する条件となる改革法案を議会に提出した。チプラス首相は、22日夜までに法案を可決する必要がある。先週提出された最初の改革案は、与党内からの反発を招き、親欧州派の野党からの支持を得てかろうじて可決した。法案は、破綻した銀行の救済費用負担から納税者を保護する目的で2008年の金融危機後に定められたEUの「銀行再建・破綻処理指令」の採用などを求めるもの。チプラス首相の連立政権は300議席中162議席を有するが、先週に造反者が出たことにより支持票は123票と過半数を割り、法案通過には野党の協力が再び必要になる見通し。

②ギリシャ中銀が21日発表した5月の経常収支は、4億0720万ユーロの黒字となった。前年同月の2億9900万ユーロの赤字から黒字に転換した。観光収入が前年同月比+17%の12億1000万ユーロとなった。

③スペインは年限3ヵ月と9ヵ月の短期債の入札で、合計42億ユーロ(46億ドル)を調達した。3ヵ月債の落札利回りは-0.05%と、4・5月の入札時の-0.025%を下回り過去最低水準となった。応札倍率は7.1倍。財務省は、国家財政の改善に伴い、国債発行コストが下がっているとの見方を示した。

④英政府は、2019年-20年度までに歳出を最大で40%削減する準備を各省に求めた。オズボーン財務相による大幅な歳出見直し策の一環。声明では「2019年-20年度までに実質ベースでの資源会計予算を25%及び40%削減するモデルを、政府は各省に求める」としている。財務省はまた、英中銀について、金融行政委員会の外部委員を1人増員することや、金融政策委員会の年8回開催を支持することも打ち出した。

3:30

米格付け会社

ギリシャのソブリン格付けを「CCC-」から「CCC+」に引き上げ、見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げ。

3:45

NY金は、中心限月が前日比3.30ドル安の1オンス=1103.50ドルで取引を終了した。

4:20

NY原油は、中心限月が前日比0.42ドル高の1バレル=50.86ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1103.50	-3.30
NY 原油	50.86	+0.42

(出所: SBILM)

#### 《 NY 金市場 》

NY金は、米利上げが近づいているとの見方を背景に相場の先安観が強まり、売りが優勢となった。ただ、ドルがユーロなどに対し下落したため、ドルの代替資産としての需要から下値は限定的となった。ただ、9営業日続落となり、終値ベースで2010年3月以来、約5年4ヵ月ぶりの安値水準となった。

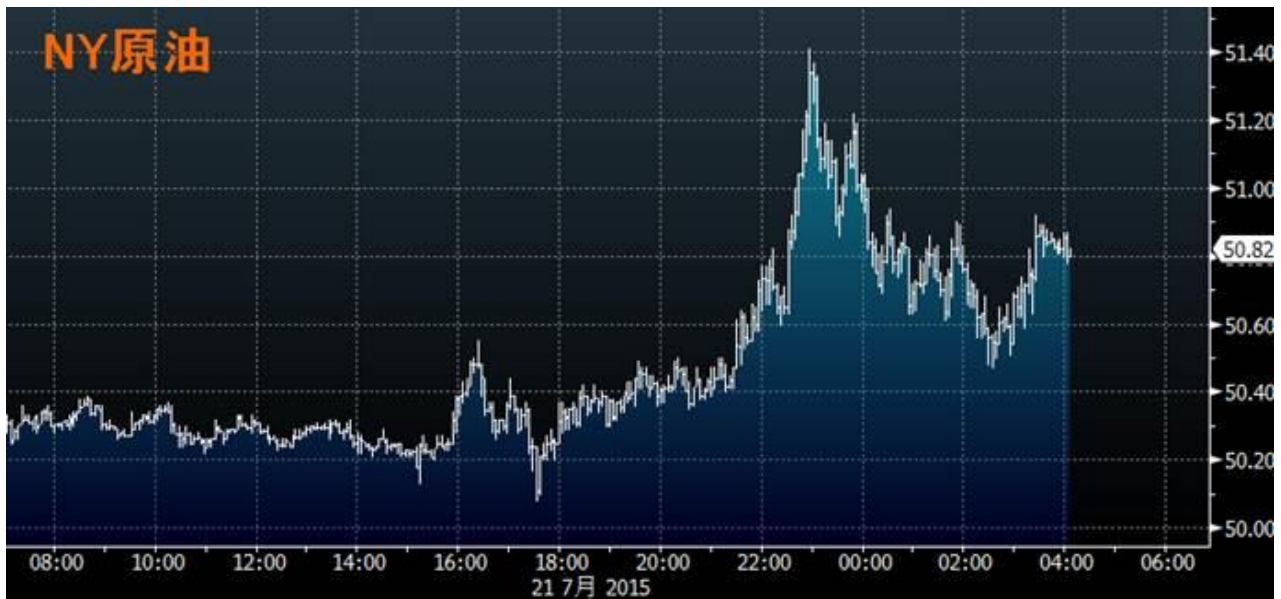


(出所: ブルームバーク)

#### 《 NY 原油市場 》

NY原油は、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感から買いが優勢となった。ただ、世界的な供給過剰への懸念を背景に、早朝の時間外取引で一時、1バレル=49.77ドルまで下落する場面もあった。





(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17919.29	-181.12	18096.67	17868.34
S&P500 種	2119.21	-9.07	2128.49	2115.40
ナスダック	5208.12	-10.74	5229.00	5196.30

(出所：SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、前日引け後に発表された四半期決算がさえない内容だったことや、欧州主要株価が軟調な動きとなったことを受けて、主要株価は序盤から軟調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 232 ドル安まで下げる場面もあった。



(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	123.93	124.40	123.77
EUR/JPY	135.61	135.76	135.00
GBP/JPY	192.80	193.56	192.53
AUD/JPY	92.01	92.26	91.58
NZD/JPY	82.18	82.52	81.97
EUR/USD	1.0944	1.0969	1.0856
AUD/USD	0.7425	0.7450	0.7362

(出所: SBILM)

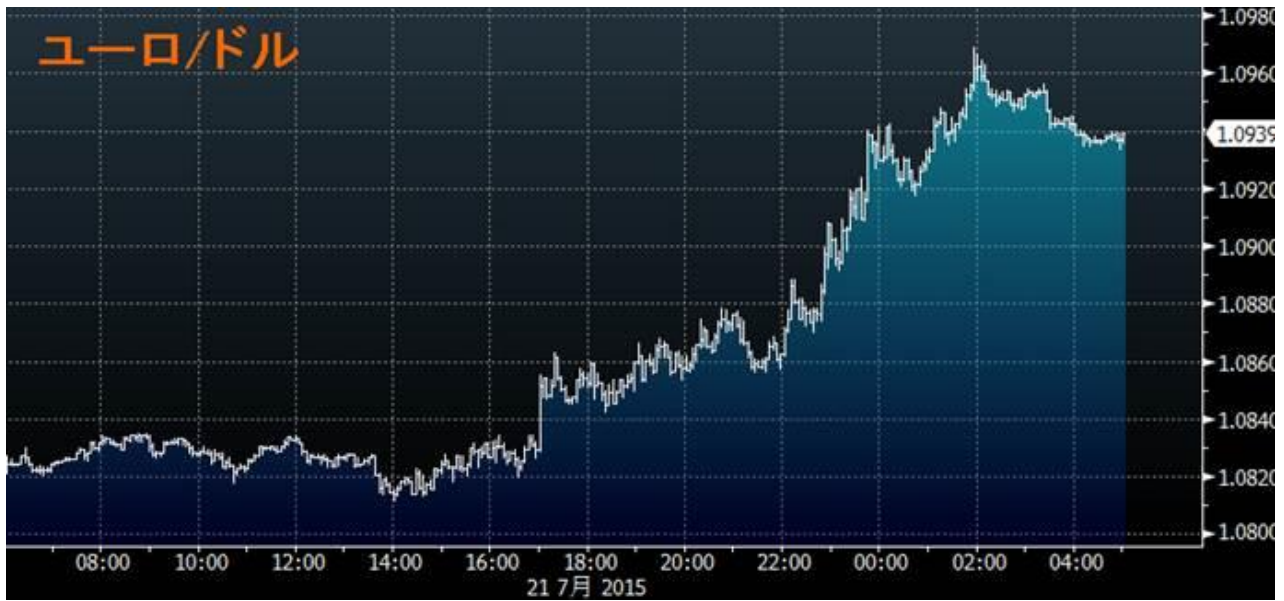
#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、米長期債利回りが低下したことを受けて、ドルは大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ユーロは、ギリシャ懸念が後退したことが引き続き材料視され、堅調な動きが続いた。



(出所: ブルームバーグ)





(出所:ブルームバーグ)

---

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。